



第6回 SENSPiRE フォーラム

「脳とAIの強みと弱み」－人々とAIエージェンツの共生社会に向けて－

次世代センサ協議会では、これまでにAIをキーワードとして、基礎理論からロボットを含むいろいろな応用に関するシンポジウムとSENSPiREフォーラムを開催してまいりました。それを通じて、過去の歴史から最先端の現状までを一通り俯瞰することができました。今回は、将来方向探索の一環として「脳とAIの強みと弱み－人々とAIエージェンツの共生社会に向けて」のテーマで沖縄科学技術大学院大学教授の銅谷賢治様にご講演いただいた後、引き続きパネルディスカッションを開催します。（企画：前田賢一）

記

- 開催日： 2026年2月19日（木） 13:30－16:30 （オンライン開催）
- 主催： 一社）次世代センサ協議会、センシング技術応用研究会（共催）
- 参加費： 次世代センサ協議会会員、センシング技術応用研究会会員／無料
一般／10,000円
- 定員： 50名 ※定員になり次第、締め切ります。
- 申込み： 事前申込みとなっておりますので、ご希望の方は下記リンク先よりお申込みください。



<https://forms.gle/cTSftwWqLDQRfSkk6>

- 申込締切： 2026年2月17日（火）
※今回は次世代センサ協議会が主体のため、資料は参加申込者のみにお送りし、後日資料をお送りすることは出来ません。是非、お申し込み下さい。
- 問合せ先： センシング技術応用研究会 事務局
TEL, FAX : 0725-53-3155 E-mail : sstj@sensing-tech.org
URL : <https://sensing-tech.org/>

■プログラム

- 13:30—13:35 開会の挨拶 一社) 次世代センサ協議会 会長 小林 彰 氏
- 13:35—14:35 講演 「脳と AI の強みと弱み」—人々と AI エージェンツの共生社会に向けて—
沖縄科学技術大学院大学 神経計算ユニット 教授 銅谷 賢治 氏
講演要旨：脳と AI はどこが似ていてどこが違うのか、AI の進化で人間社会はどう影響されるのか、これらを議論する上で重要なのは、人も AI もそれぞれが幅広い多様性を持つ存在であるという点である。この講演では、生態系での競合と協調、人間社会での権力分散と委任のしくみも参考に、多様な人々と AI エージェンツの社会が健全に持続し進化するために何が必要かについて議論する。
- 14:35—15:00 質疑
- 15:00—15:10 休憩
- 15:10—16:25 パネルディスカッション 「AI の将来」
将来の AI 方式、将来の AI 応用、ロボット、フィジカル AI、将来のセンシング、AI と社会の関係、その他
パネリスト：銅谷 賢治 氏、林 祐輔 氏、山川 宏 氏、筒井 博司 氏
- 16:25—16:30 閉会の挨拶 センシング技術応用研究会 会長 筒井 博司 氏
- ※プログラムはやむを得ず変更になる場合があります。

講師プロフィール： 銅谷 賢治 氏

所属 沖縄科学技術大学院大学

役職 神経計算ユニット 教授

1961 年東京生まれ。東京大学卒、博士（工学）。東大工学部助手から 1991 年にサンディエゴに移りソーカ研究所などで脳科学を学ぶ。1994 年から京都の ATR 研究所にて自ら行動を学習するロボットの開発と、脳の学習のしくみの研究を行う。2004 年に沖縄に渡り沖縄科学技術大学院大学 (OIST) 先行研究代表研究者、2011 年 OIST 開学とともに神経計算ユニット教授、副学長に就任。2008 年から 2021 年まで Neural Networks 誌共同編集長、2011 年「予測と意思決定」、2016 年「人工知能と脳科学」新学術領域代表、2023-2024 年日本神経回路学会会長、Neuro 2022, ICONIP 2025 沖縄大会長を務める。2007 年学術振興会賞、塚原伸晃賞、2012 年文部科学大臣表彰科学技術賞、2018 年国際神経回路学会 Donald O. Hebb 賞、2019 年日本神経回路学会学術賞、アジア太平洋神経回路学会卓越業績賞受賞、2024 年 Ironman Hawaii 完走。